

副産物情勢

5月15日 更新

J A 全農ミートフーズ株式会社

項 目			内 容	備 考																								
内 臓	1.国産牛	○ 3月の成牛と畜頭数は、89.6千頭(前年比96.6%)と前年を下回った。 内訳を見ると、和牛:41.7千頭(前年比102.8%)、交雑牛:21.0千頭(同96.0%)、乳牛去勢:10.8千頭(同96.4%)となった。 ○ 4月の成牛と畜頭数は、速報値(4月30日まで集計)で96.2千頭(前年比103.2%)と前年を上回る見込みとなった。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(4月25日公表)によると、4月の出荷頭数は、交雑種で減少するものの、和牛、乳用種で増加が見込まれることから、前年を上回ると予測する。 5月は、乳用種で減少するものの、和牛および交雑種で増加が見込まれることから、前年同月を上回ると予測する。 (4月 96.4千頭(前年比102.8%)、5月 87.2千頭(同102.4%)) ○ 需 給 動 向 : 赤物はタン、ハラミ、ツラミ等が需要を支えており、今後も通年商材に関してはひっ迫した在庫状況が予想される。 白物は小腸が価格の高い在庫を抱えているため、荷動きが停滞傾向にある。ふるさと納税需要は産地の規制が強化されたため、今後の需給状況に注視が必要。		1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年4月 1日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和3年4月 26日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和3年10月 18日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年2月7日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和4年4月4日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年8月8日</td><td>45</td><td>9</td></tr></table> ※乳牛も同様45円/kg * 豚正貫物	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月 1日	35	7	令和3年4月 26日	25	5	令和3年10月 18日	35	7	令和4年2月7日	25	5	令和4年4月4日	35	7	令和4年8月8日	45	9			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																									
	令和3年4月 1日	35	7																									
令和3年4月 26日	25	5																										
令和3年10月 18日	35	7																										
令和4年2月7日	25	5																										
令和4年4月4日	35	7																										
令和4年8月8日	45	9																										
2.国産豚	○ 3月の全国豚と畜頭数は、1,371千頭と前年を下回った(前年比93.3%)。 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道94.6%、東北90.7%、関東92.4%、北陸甲信越88.4%、東海97.8%、近畿91.3%、中四国94.6%、九州・沖縄94.7% ○ 4月の全国と畜頭数は、1,377千頭(速報値4月30日まで集計、前年比103.9%)と前年を上回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年より1日多く、1日当たりの平均と畜頭数は65,576頭(前年実績:66,495頭/日、前年差▲919頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;4月23日付け)によると、5月;1,332千頭(前年比98%)、6月;1309千頭(同99%)、7月;1,299千頭(同104%)、8月:1,299千頭(同100%)、9月:1,329千頭(同103%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約101%と前年を上回る見込み。 ○ 需 給 動 向 : 加工品需要の増加によりガツ、頭肉が好調であった。タン、ハラミ等の通年商材の需要も継続して底堅く、加えて夏場に向けてレバーの引き合いも強い。 一部地域では大腸・小腸の価格が下がっている販売先もあるため、在庫過多にならないよう注意が必要。		2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年3月 11日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和3年4月19日</td><td>25</td><td>3</td></tr><tr><td>令和3年10月 15日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年2月1日</td><td>25</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年3月28日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年8月1日</td><td>45</td><td>5</td></tr></table>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年3月 11日	35	4	令和3年4月19日	25	3	令和3年10月 15日	35	4	令和4年2月1日	25	4	令和4年3月28日	35	4	令和4年8月1日	45	5				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																										
令和3年3月 11日	35	4																										
令和3年4月19日	25	3																										
令和3年10月 15日	35	4																										
令和4年2月1日	25	4																										
令和4年3月28日	35	4																										
令和4年8月1日	45	5																										
3.輸入牛	○ 3月の輸入通関実績は、全体で38.4千トと前年を上回った(前年比104.3%、前月比123.7%)。 内訳ではチルド:18.2千トン(前年比102.3%、前月比145.2%)、フローズン:20.2千ト(前年比106.2%、前月比109.2%)となった。 輸入相手国別では、チルドは豪州、ニュージーランドが増加したが、米国、カナダ、メキシコは減少した。フローズンは豪州、ニュージーランドが増加し、米国、カナダは減少した。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドは、国内需要が低迷下にある中、現地相場の高騰等により、米国産の減少が見込まれることから、4月、5月ともに前年同月を下回ると見込んでいる。 フローズンも同様の傾向であり、主要国を含む多くの輸入先からの輸入量が少ないことから下回ると見込んでいる。3か月平均でも、チルド、フローズンともに下回ると見込んでいる。 令和6年 4月 合計:49.8千ト(前年比73.3%)、チルド:17.3千ト(同82.1%)、フローズン:32.5千ト(同69.5%) 令和6年 5月 合計:42.4千ト(前年比91.3%)、チルド:16.0千ト(同99.4%)、フローズン:26.4千ト(同87.2%) ○ 輸入牛内臓実績(令和6年3月): 牛腸(冷凍) ;1,164.0ト(前年比72.6%・前月比107.6%) 国別実績;米国881.1ト、メキシコ145.1ト、豪州95.9ト、カナダ38.6ト、スペイン2.5ト、他 牛レバー(冷凍);17.6ト(前年比35.8%・前月比20.0%) 国別実績;メキシコ9.3ト、米国5.9ト、豪州2.5ト																											
原 皮	1.牛原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 6 年 3 月) : 53,185枚(前年比116.8%、前月比155.7%) 国別実績;タイ36,710枚(前年比165.8%)、韓国11,075枚(同67.8%)、ベトナム3,580枚(同120.9%)、インド1,180枚(同28.9%)、カンボジア640枚(同53.3%) 輸 出 平 均 価 格 (令 和 6 年 3 月) : 2,520円/枚(前年差+222円、前月差+91円) ○ 輸 入 実 績 (令 和 6 年 3 月) : 牛大判皮27,251枚(前年比116.0%、前月比188.0%)、ウェットブルー30,735枚※(同249.8%、同215.6%) ※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和6年3月): 牛大判皮8,669円/枚(前年差+1,914円、前月差△81円)、ウェットブルー9,319円/枚(同+2,620円、同△1,600円) ○ 海 外 情 勢 : 天然皮革マーケットは依然として不況下にあり、マーケットが上向く兆しは見られない。安値安定の状況が継続。 ○ 国 内 情 勢 : 皮革製品需要の減少やタンナーの人手不足等により国内産皮革の流通量が落ち込んでおり、ヌキ原皮中心の流通となっている。		3.東京市場原皮価格 * 交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和牛)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年7月22日</td><td>700</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>500</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月15日</td><td>100</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月20日</td><td>100</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年5月24日</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>令和5年10月16日</td><td>10</td><td>2</td></tr></table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	令和元年7月22日	700	10	令和2年3月16日	500	10	令和2年6月15日	100	10	令和2年7月20日	100	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年5月24日	10	10	令和5年10月16日	10	2
	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																									
令和元年7月22日	700	10																										
令和2年3月16日	500	10																										
令和2年6月15日	100	10																										
令和2年7月20日	100	2																										
令和2年9月28日	10	2																										
令和3年5月24日	10	10																										
令和5年10月16日	10	2																										
2.豚原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 6 年 3 月) : 1,230,784枚(前年比104.5%、前月比116.5%) 別実績;タイ952,584枚(前年比112.2%)、ベトナム133,300枚(同87.2%)、カンボジア111,000枚(同76.9%)、韓国33,900枚(同105.9%) 輸 出 平 均 価 格 (令 和 6 年 3 月) : 350円/枚(前年差△10円、前月差+12円) ○ 需 給 動 向 : 安値流通の情勢継続。靴需要の低迷、製造経費の増嵩、為替円安等を背景にタンナーとの価格交渉が難航している。 中国旧正月明けから少しずつ動き始めてきたが、ロシアのウクライナ侵攻による欧州の情勢不安により、ライニング需要が依然として低迷している。		4.大阪市場原皮価格 * 交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和ヌキ)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年8月15日</td><td>1,000</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>800</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月22日</td><td>300</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月27日</td><td>300</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年6月1日</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>令和5年10月23日</td><td>10</td><td>2</td></tr></table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	令和元年8月15日	1,000	10	令和2年3月16日	800	10	令和2年6月22日	300	10	令和2年7月27日	300	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年6月1日	10	10	令和5年10月23日	10	2	
価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																										
令和元年8月15日	1,000	10																										
令和2年3月16日	800	10																										
令和2年6月22日	300	10																										
令和2年7月27日	300	2																										
令和2年9月28日	10	2																										
令和3年6月1日	10	10																										
令和5年10月23日	10	2																										
レンダリング	1.油脂等	○ 国産食用加工油脂向け価格(4月渡し): 牛脂145円/kg(前年差△20円、前月差±0円)、豚脂155円/kg(同△20円、同±0円) 牛脂は、一時需要の引き締まりが見られたものの、カレールウの動きが低調であることに起因して現状は緩みがちで推移。 豚脂は、純製から調製ラードシフトによる消費量減少に加え、と畜頭数増加により生産量が増加。一部メーカーでは在庫の積み上がりが目立ってきている。 ○ マレーシア産パーム油相場(4月): 166円/kg(前年差+9円、前月差△9円) 3月生産量は139万トン(前月比110.6%)、輸出量は132万トン(同129.4%)、月末在庫は171万トン(同89.3%)となった。 輸出需要が好調だったものの、世界的な植物油安が影響し相場は下落。今後増産期に入るが、生産量が想定より伸びなければ相場に影響が出る見込み。 ○ 関 東 飼 料 用 油 脂 (4 月) : 114円/kg(前年差△30円、前月差△10円) ○ 工 業 用 油 脂 (4 月) : 95円/kg(前年差△20円、前月差±0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(4月): 123円～126円/kg程度(前年差△20円、前月差±0円)		5.食用加工油脂価格 単位:円/kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛脂</th><th>豚脂</th></tr><tr><td>令和4年3月1日</td><td>155</td><td>150</td></tr><tr><td>令和4年4月1日</td><td>175</td><td>170</td></tr><tr><td>令和4年7月1日</td><td>195</td><td>190</td></tr><tr><td>令和5年1月1日</td><td>175</td><td>175</td></tr><tr><td>令和5年4月1日</td><td>165</td><td>175</td></tr><tr><td>令和5年7月1日</td><td>155</td><td>165</td></tr><tr><td>令和5年10月1日</td><td>145</td><td>155</td></tr></table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和4年3月1日	155	150	令和4年4月1日	175	170	令和4年7月1日	195	190	令和5年1月1日	175	175	令和5年4月1日	165	175	令和5年7月1日	155	165	令和5年10月1日	145	155
価格改定年月日	牛脂	豚脂																										
令和4年3月1日	155	150																										
令和4年4月1日	175	170																										
令和4年7月1日	195	190																										
令和5年1月1日	175	175																										
令和5年4月1日	165	175																										
令和5年7月1日	155	165																										
令和5年10月1日	145	155																										